

二輪車産業政策ロードマップ^o の取組状況



バイクラブフォーラムのホームページ <http://www.bikeloveforum.jp/>

バイクが人と社会に貢献する活動を紹介中 「バイクラブ」で検索

お問合せ

BLE
BIKE LOVE
FORUM

BLEについて ロードマップ BLE開催報告 お知らせ

バイクはときどき仲間と触れ合える
コミュニケーションツールになる

BLEについて

BIKE LOVE FORUM (BLE) とは、世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造を目指すとともにバイク産業の振興、市場の発展等を回ることを目指し、バイクに関わる企業・団体・地方自治体等が核となり、利用者等も交え、関係者間で社会におけるバイクへの認知と受容、共存のあり方や、バイクの将来像等に関して真摯に議論し活動する取り組みです。



BIKE LOVE FORUM

世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造を目指すとともにバイク産業の振興、市場の発展等を図ることを目的とし、バイクに関わる企業・団体・地方自治体等が核となり、利用者等も交え、関係者間で社会におけるバイクへの認知と受容、共存のあり方や、バイクの将来像等に関して真摯に議論し活動する取り組みです。



二輪車産業政策ロードマップ

二輪車の国内外の市場毎の政策課題を整理し、課題解決のための実行施策をとりまとめたもの。

(2014年5月発表)

【2020年をゴールとする目標】

- ①世界のバイクの 2 台に 1 台をジャパンブランドに
- ②国内市場販売 1 0 0 万台
- ③マナーアップ

二輪車産業政策ロードマップの取組団体

- 日本自動車工業会
- 全国オートバイ協同組合連合会
- 日本二輪車普及安全協会
- 日本自動車輸入組合
- 日本自動車部品工業会
- 日本二輪車オークション協会
- 全国二輪車用品連合会
- 中古二輪自動車流通協会
- 三重県
- 鈴鹿市
- 静岡県
- 浜松市
- 磐田市
- 熊本県

- ・ 自ら実行
- ・ 全員参加
- ・ 官民一体

政策課題	実行施策	主な活動
1. 安全・安心な二輪車の醸成	①安全運転啓発・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転講習会の開催、グッドライダーミーティングの層別開催強化 ・胸部プロテクターの着用推進、JMCA胸部プロテクター推奨制度を2016年8月から開始 ・ヘルメット適正着用の推進 ・生徒指導担当教員への研修会、高校生用指導マニュアル・リーフレット活用による原付通学許可生徒への指導強化 ・受講機会の少ない高齢運転者対象講習会を開催 ・熊本県では県内51校にライディングトレーナーを設置
	②信頼される販売店作り	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車公正競争規約の遵守、自動車公正取引協議会への入会促進 ・二輪車安全運転指導員資格の取得促進
	③グッドライダー喚起・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「グッド♡マナー JAPAN RIDERS宣言」を立ち上げ、宣言募集活動 ・「ジャパンライダーズ×ばくおん!!」タイアップポスター掲示による訴求拡大
2. 社会との共生実現	④不正改造の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> ・不正改造防止推進協議会キャンペーン推進、違法マフラー排除の啓発の強化 ・走行距離管理システムによる警告を実施、二輪中古車の走行距離表示の適正化に向け共通走行距離表示を実施 ・国交省、警察庁に街頭取り締まり強化を要望
	⑤モデル自治体での二輪車利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪メーカーの創業地であり、バイクのふるさと浜松を開催し、情報発信 ・三重県南部10市町によるツーリングマップの作成、スタンプラリー開催等による利用促進 ・熊本県の産業政策に二輪車の位置づけ
	⑥バイク防災隊・支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における二輪車の活用事例集を作成し、有効利用を提案 ・防災組織において販売店組合と地域ボランティアとの接点作りや二輪車活用の意見交換 ・非常時ボランティア組織（FAST）による二輪車活用

政策課題	実行施策	主な活動
3. 社会基盤の整備	⑦ 駐車場整備、適正な規制	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場案内サイトの拡充及び駐車場の利用普及啓発 ・駐車場設置希望のユーザーの声を自治体にお届け ・駐輪場に原付二種まで駐車可能とする条例改正を各自治体に要望 ・自治体の二輪車駐車場 事例集 2016 を発行
	⑧ 高速料金適正化、ETC購入助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・オートバイ議員連盟に要望の結果、ETC購入助成金（1万5千円）を実施 ・高速道路料金の車種区分を軽自動車から分離し、二輪車として独立する適性化を要望
	⑨ 通行帯の確保、道路インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・形骸化、合理性のない二輪車通行規制区間の解除要望を収集 ・バス専用通行帯のある道路での二輪車走行の安全面の評価を研究中
	⑩ 保険制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・保険会社や損保協会との意見交換 ・加入状況や二輪利用者のニーズ調査、分析
4. 免許制度の見直し	⑪ 小型限定免許取得簡便化	<ul style="list-style-type: none"> ・取得短縮のため、次世代（簡易）型シミュレーターの採用を警察庁、全指連に提案 ・自民党二輪車問題対策プロジェクトチームにて議論
	⑫ 普通二輪免許車両区分見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性を犠牲にすることなくユーザーの負担軽減を実現するために、欧米主要国の免許制度等の調査・分析 ・日本市場に適した普通二輪免許制度見直しを検討中
5. 快適・楽しさの訴求	⑬ 若者、新規客へ情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や無関心層を対象に体験型イベントを実施 ・SNS活用による情報発信 ・原付取得支援キャンペーンの実施（東京） ・女性ライダー増加を目指す「2030運動」の展開 ・モータースポーツ課外授業を実施
	⑭ 二輪ユーザーの長期化	<ul style="list-style-type: none"> ・親子や子供バイク教室 ※「モーターサイクルスポーツや体験スクール活動に、親子で参加できる環境作りをおこない、二輪車ファンの継続的な拡大」を施策として追加

「1. 安全・安心な二輪車の醸成」の主な取組

★バイクは安全？

- 胸部プロテクター着用 & ヘルメット適正着用 の推進



- JMCA胸部プロテクター推奨制度 <2016年8月からスタート>



★ライダーのマナーは？

- ジャパンライダーズ宣言 4万人 <バイクライフで心がけているグッドマナーを宣言してもらい、みんなで共有していく活動>



宣言例：『安全第一が基本』人にやさしく・自然にやさしく・大切な人のもとに必ず帰る運転に心がけます。

- 安全運転講習（グッドライダーミーティング）を開催 <全国115回開催、4千人を対象に運転技術向上>



- 高齢運転者対象講習会



★違法マフラーがうるさい

○不正改造の撲滅

＜不正改造車を流通から排除＞

＜国交省、警察庁に街頭取り締まり強化を要望＞



JMCA 一般社団法人 全国二輪車用品連合会

ホーム 全マフラー検索 設立の経緯 概要 運営組織図

[ご利用のブラウザについて](#)

2015.1.16更新

認定/認証マフラー検索

《マフラー検索の使い方》

・完全一致した認定/認証番号のみ表示されます。
 認定番号: 半角数字8桁
 認証番号: 半角数字10桁

 ここで公開しているデータの無断引用を禁じます。

★バイクは地域振興と無関係？

○災害時に活動する二輪車を紹介



○三重県南部10市町でツーリングマップを作成し、ライダー誘致で地域活性化



「3. 社会基盤の整備」の主な取組

★バイクの駐車場はどこ？

○全国バイク駐車場案内サイト
 <7,600箇所、15万台分を案内>



(日本二輪車普及安全協会HP)



★バイクの高速料金は適正？

○ETC購入助成金を要望した結果、助成制度を実施



<上記HPにて、みんなの駐車場リクエストを募集し、自治体・民間事業者に届けています。>



<駐輪場に原付二種までを受け入れ可能とする条例改正を自治体に要望>

○高速道路料金の車種区分を「軽自動車等」ではなく「二輪車」として独立させ、適正料金化を要望中



「4. 免許制度の見直し」の主な取組

★レベルを落とさず免許取得を短期化できないの？

○小型限定免許取得容易化を検討

＜取得短縮のため、次世代型シミュレーターの採用を警察庁、全指連に提案＞

＜実技教習時限の制限緩和を要望中＞

①第一段階の一日の上限2時限⇒3時限へ ②シミュレーター教習を一日の上限制限から除外



「5. 快適・楽しさの訴求」の主な取組

★バイクってよく知らないけど、本当に楽しい？

○バイクの楽しさを体感できるイベントを各地で開催



○若者への情報発信



○若者の免許取得支援



○親子バイク教室

